



平成 28 年度 Vol.12

防災対策 情報便

年月日	平成 29 年 3 月 31 日
発行	災害対策課
所属長	課長 大石 照男
電話	06 - 6489 - 6165

1 津波等一時避難場所の追加指定について

平成 29 年 4 月 1 日付けで、次の施設を津波等一時避難場所に追加指定します。

施設名	所在地	収容人数
武庫支所本館	武庫の里 1 丁目 13-29	300 人
県立尼崎稲園高等学校	猪名寺 3 丁目 1-1	4,040 人
プライドシティ塚口 (B 街区)	上坂部 1 丁目 36-10	1,430 人

今回の施設の追加指定で、合計 352 施設 (334, 260 人) となります。

2 阪神間 7 市 1 町 合同 緊急速報メール一斉配信訓練を実施しました

平成 29 年 3 月 11 日 (土曜日) 午前 10 時頃に、阪神間 7 市 1 町の合同防災訓練として、「阪神間 7 市 1 町 合同 緊急速報メール一斉配信訓練」を実施しました。

この合同訓練は、災害時の初期行動について考える「きっかけ」とし、防災意識を高めるとともに、エリアメール・緊急速報メールの周知を図ることを目的として、平成 27 年度より、実施しているものです。

尼崎市では、これまでも平成 28 年 11 月 13 日の兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練や平成 29 年 1 月 17 日の「1.17 は忘れない」地域防災訓練において、エリアメール・緊急速報メールを配信してきました。今後もこのエリアメール・緊急速報メールの配信訓練を実施予定ですので、避難行動の訓練等にご活用ください。

3 自主防災会の防災訓練について

平成 29 年 3 月 12 日 (日曜日) 午前 9 時から小田南公園にて、同月 26 日 (日曜日) 午前 10 時から尼崎だいもつ病院にて、稲川橋自主防災会による防災訓練が 2 回に分けて実施されました。両日とも、約 100 名の地域住民の参加があり、平時からの備えが大切であるとの声が多く聞かれました。

訓練内容は、次のとおりです。

(活動内容)

小田南公園での訓練 (3 月 12 日実施)

水平避難訓練、負傷者搬送訓練、応急手当訓練、救急救護訓練、初期消火訓練、炊き出し訓練等

尼崎だいもつ病院での訓練 (3 月 26 日実施)

垂直避難訓練、津波等一時避難場所への避難経路及び内部避難経路の確認等、簡易担架による負傷者搬送訓練等



稲川橋自主防災会の訓練の様子

4 自主防災会の防災マップづくりについて

大規模な災害が発生した場合、消防や警察等がすぐに駆けつけられるとは限らず、自分の命は自分で守る「自助」の意識や、近隣の人々が助け合う「共助」の精神を一人ひとりが持ち、災害に対する正しい知識を身につけ、災害に備えることが大切です。

地域の防災マップは、防災の基礎知識を身につける防災講座、危険箇所等の情報収集を行うまち歩き、印刷されたマップの校正作業等を経て、出来上がります。夏ごろから進められていた平成28年度の防災マップづくりも、平成29年3月で完成を迎え、12の自主防災会で防災マップ(更新含む)が作成されました。これによって、75の自主防災会の内、45の自主防災会で防災マップ(更新含む)が出来たこととなります。

今後も、さまざまな形で地域独自の防災マップづくりを支援していきます。

<3月の活動内容>

武庫第3自主防災会(防災講座「マップの活用方法について」・救急救命訓練等)、武庫第4自主防災会(防災講座「マップの活用方法について」・図上訓練)



防災講座の様子

5 地域の事業所による防災訓練について

平成29年3月23日(木曜日)13時半から、社会福祉法人みんなの労働文化センター雑居工房と福祉事業所ポレポレハウスとの防災訓練が実施され、施設スタッフ及び施設利用者(災害時要援護者)の方々が災害時の避難行動等を確認されました。

当日の訓練内容については次のとおりです。

<訓練内容>

防災講座

(「災害から要配慮者の身を守るために」、「災害時要援護者支援について」)

シェイクアウト訓練

要配慮者に対する避難誘導訓練



防災講座の様子



避難訓練の様子

6 危機管理安全局長から最後に伝えたいこと

危機管理安全局は、昨年4月の組織再編により、防災担当局から新たに名称が変わり、これまでの防災、防犯、交通安全等に係る事務を引き続き担っていくとともに、これまで以上に市民生活における様々な“危機管理”に関する事象に対し迅速、的確に対応していくことになりました。

昨年は、4月の熊本地震、10月の鳥取県中部地震、また11月にはあの東北地方太平洋沖地震の“余震”と言われている地震が起こる等、日本はまさに地震の“活動期”に入っていることは間違いのないと言えます。また、地震だけではなく8月には4つの台風が日本に上陸するなど、地球規模での気象の変化が激しく、局地的な大雨など市民生活に大きな影響を及ぼす自然災害が近年多数発生しております。

これらに“備える”ためにはやはり「地域の力」や「一人一人の市民の力」が不可欠であることは言うまでもなく、それらの活動に対して、行政も全力で支援をしていく必要があります。

また、防災とともに局のもう一つの大きな柱である、防犯、交通安全については、ひたつくりの発生件数の激減など徐々にではありますが、その成果が上がってきている事案もある一方、交通事故死亡者数は、昨年も11名の方々がお亡くなりになるなど、多くの被害が出ており、特に高齢者、自転車利用者の割合が高く、これらの対策についても様々な施策を進めていく必要があります。

さらに、来年度からは新たに制定した「あまがさき自転車のまちづくり条例」に伴い、ルールを守り適正に利用すると共に、愛着を持ち楽しんで頂けるような魅力の創造等、様々な取り組みを進める必要があります。

これら、防犯、交通安全、自転車についても、やはり行政だけではなく、警察をはじめとする関係機関、団体、そして何より市民の皆様一人一人と連携を図り、一丸となって取り組んでこそ成果に繋がるものと考えております。

私はこの3月末をもって退職致しますが、引き続き「危機管理安全局」は

“みんなで一丸となって取り組む” をスローガンに、市民の安全・安心のために頑張りたいと思います。

皆さま、本当に長い間、大変お世話になり有難うございました。

(危機管理安全局長 衣笠年晴)



7 気仙沼市への職員派遣について

平成29年度も3名の職員を気仙沼市へ派遣します。(うち1名は、派遣継続)
派遣期間・・・平成29年4月1日～平成30年3月31日

写真	氏名等	抱負
	氏名 鹿島 靖朗 職種 技術職（土木） 配属先 建設部 都市計画課 土地区画整理室 （道路整備担当から派遣）	<p>6年前、震災の報道を見たときに大変ショックを受けました。私も同じ日本人として被災地のために何かできないかと思いました。</p> <p>今回尼崎市から派遣職員ということになり、限られた期間にはなりますが、被災地の復興の一助になればとの思いですので、精進してまいります。</p>
	氏名 寺山 勝理 職種 技術職（土木） 配属先 建設部 都市計画課 土地区画整理室 （道路維持担当から派遣）	<p>私自身、大きな震災を経験した事がなくテレビの報道などで見る程度でした。今回派遣職員として復興事業に携わる事は大変貴重な経験であるとともに復興というものを肌で感じる良い機会だと思っております。</p> <p>気仙沼市の復興に少しでも力になれるよう業務に取り組んでいきたいと思えます。</p>
	氏名 東 勲 職種 技術職（土木） 配属先 建設部 下水道課 （下水道部建設課から派遣）	<p>気仙沼市に派遣され、4月から2年目になります。昨年度までは、気仙沼市独自の仕事の進め方や地理に慣れるまでの期間が必要で、1年間まるごと復興に尽力できたとは言えませんでした。しかし、今年度は気仙沼市での業務の中で培ってきた知識や経験を生かして1年間フルで復興事業に携わっていきたく思います。復興も佳境にさしかかっており、市民の皆さんからももうひと息といった思いが伝わってくる場面もあります。私自身ができることは少ないかもしれませんが、頑張っていきたいです。</p> <p>また、気仙沼市に観光に来ていただくことも復興の一助となるので、是非訪れていただければと思います。</p>

【平成28年度派遣状況（H29.3.31現在）】

建設部都市計画課土地区画整理室：2名（土木職）

建設部下水道課：1名（土木職）

以上